

# 沖縄の普天間基地と辺野古の新基地の建設理由について-地域住民の観点からの考察

中3

# 沖縄  
# 米軍  
# 基地  
# 環境  
# 問題

## 【当該研究の状況】

- ・普天間基地: 人口密集地域のど真ん中に位置している滑走路周辺に安全確保のために必要とされるクリアゾーンが設けられてない。  
沖縄米兵女子暴行事件が起きた。しかし、日米地位協定により引き渡す義務がなく米兵が捕まらなかった。それによって協定の見直しを要求する運動が起こった。この運動から普天間基地を移設するべきという動きになった。(琉球新報デジタル 2023)
- ・辺野古: 生物多様性が極めて高い地域であり、ジュゴンを含め絶滅危惧種262種を含む5300以上の生物種が確認されている。(沖縄県 2021)  
現在の普天間基地にはない機能を備える移設計画がある。(沖縄県 2024)

## 【先行研究への問題意識】

- ・普天間基地から辺野古の新基地に移すことは移転する意味はないのではないのか。
- ・辺野古の生態系が壊されてしまう。
- ・普天間基地の返還が決まったが辺野古の新基地の建設が終わるまで返還されない。
- ・住民が辺野古への移設について納得できていない。

## 【RQ】

辺野古の新基地の建設による生態系が崩れることを上回るメリットがあるかどうか。

## 【RQに対する仮説】

辺野古の新基地を建設することによる生態系が崩れることを上回るメリットがない。

## 【研究目的】

本研究は、辺野古の新基地を建設するメリットがあるかどうかを地域住民の観点から明らかにすることが目的である。

## 【研究内容・方法】

- ・政府が住民に説明するために使用した資料を参照する
- ・沖縄県のHPを参照する

【結果(RQや仮説に一言で回答すると)】

辺野古移設は、沖縄県の住民にとってのメリットがあった。

【結果の詳細】

### 辺野古移設のメリット

#### ①住民生活に影響を与えないようにできる

- ・安全性が向上する
- ・騒音被害が減る

#### ②経済効果がある

- ・普天間基地の跡地を再開発→経済的に活性化
- ・前例: 基地の跡地で再開発→32倍の経済効果
- ・普天間跡地: 同様に32倍の経済効果が予想されている

【結論】

メリットはたくさんあったがそれが生態系を壊すことを上回るかは判断できない。

【考察・今後の課題】

①そもそも沖縄県は県外移転を望んでいた→県内の辺野古が移転先になった

②基地があることによって暮らしが支えられている人もいる→基地がないほうがいとひとこと言うことはできない。

基地がなくても地域住民が暮らせるような方法を考えるべき。

【参考文献】

・辺野古新基地建設問題(普天間飛行場の辺野古移設)について | 沖縄県公式ホームページ

・イチから分かる! 「普天間・辺野古」そもそもどんな問題?- 琉球新報デジタル

・今こそ辺野古に代わる選択を新外交イニシアティブ(ND)からの提言2017年2月

・普天間基地「移設」を考える2010年11月20日

・[跡地利用に伴う経済効果 | 普天間飛行場跡地 未来予想図 \(pref.okinawa.jp\)](https://pref.okinawa.jp) 2024年1月11日

・辺野古新基地(普天間飛行場の辺野古移設)2024年3月13日

・辺野古・大浦湾の自然環境2024年1月11日